

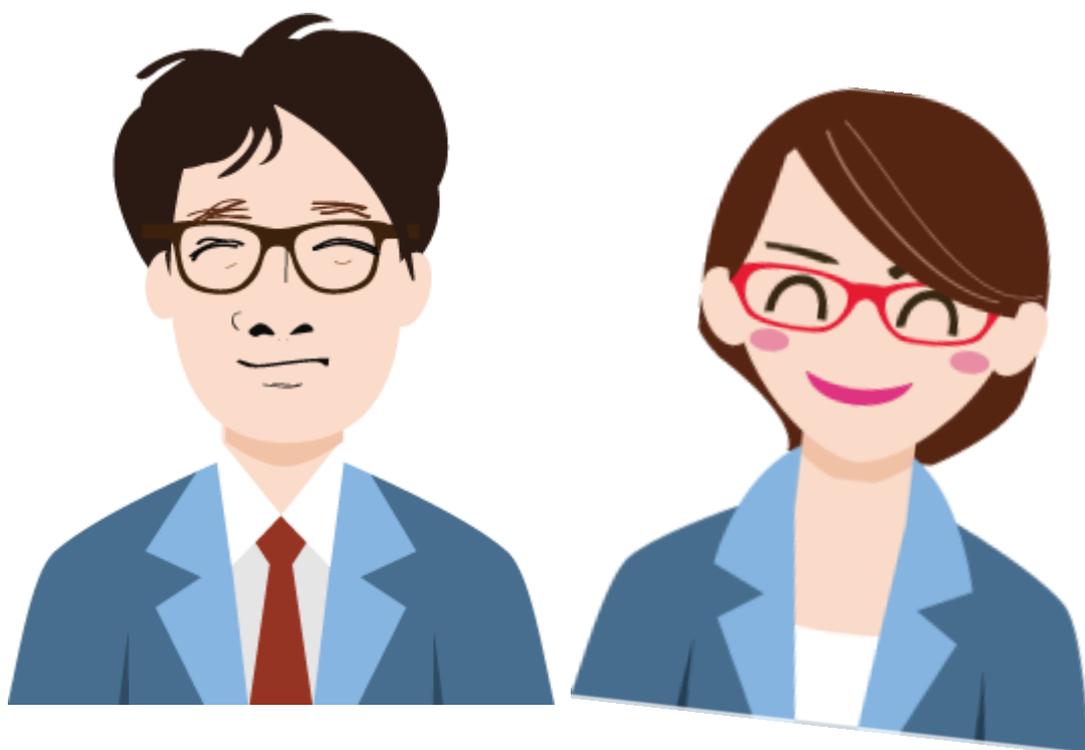
ベテラン講師とフレッシュ講師の！

＜日商簿記 3 級＞

フリーテキスト講座

---

～債権・債務～ 全 6 枚



Syachou

&

Morisato

弥生カレッジ GMC フリーテキスト講座 (無料動画で公開中)

# ～債権・債務～

## ◆債権【資産】・債務【負債】

### ・債権？債務？

…**債権**とは、お金の支払いなどの要求をできる**権利**のこと。

**債務**とは、お金の支払わなければならない**義務**のこと。



【例】

<u>債権【資産】</u>		<u>債務【負債】</u>	
未収金	⇔	未払金	
貸付金	⇔	借入金	
手形貸付金	⇔	手形借入金	
前払金	⇔	前受金	など…

## ◆未払金と未収金

未収金…商品以外のものを売買したときに代金を後日受け取ることでできる権利。

未払金…商品以外のものを購入したときに代金を後日支払うべき義務。

### 未 収 金

～商品以外のものを売却したとき～

→未収金で処理

【例】11/1 当社は、売買目的有価証券 150,000 円 (帳簿価額)を 170,000 円で売却し、代金は月末受け取ることとした。

未収金 170,000 / 売買目的有価証券 150,000  
有価証券売却益 20,000

【例】11/30 未収金 170,000 円を現金で受け取った。

現 金 170,000/ 未収金 170,000

### 未 払 金

～商品以外のものを購入したとき～

→未払金で処理

【例】9/1 当社は、売買目的で株式 140,000 円を購入し、代金は売買手数料 10,000 円とともに、代金は月末に支払うこととした。

売買目的有価証券 150,000/ 未払金 150,000

【例】9/30 月末となり、未払金 150,000 円を現金で支払った。

未払金 150,000/ 現 金 150,000

未収というのは、未だ収入もなっていないということですね！





## ◆前払金と前受金

前払金…商品の注文時に代金の一部を内金や手付金として前もってはらっておく場合に使用する勘定科目。

前受金…商品の注文を受けた側は、代金を前もって受け取った場合に使用する勘定科目。

### 前 払 金

～内金や手付金を支払ったとき～

→前払金で処理

【例】四国商店は、薩摩商店に商品を注文し、  
内金として 15,000 円を現金で支払った。

前払金 15,000/現金 15,000

※まだこの段階では、商品を注文しただけで  
仕入れはしていません。

【例】四国商店は薩摩商店より商品 50,000 円を  
仕入れ、代金のうち 15,000 円は注文時に支払った  
内金と相殺して、残額は掛けとした。

仕入 50,000 / 前払金 15,000  
買掛金 35,000

※商品を受取って初めて「仕入れ」になります。

### 前 受 金

～内金や手付金を受取ったとき～

→前受金で処理

【例】薩摩商店は四国商店より商品 50,000 円の  
注文を受けた。そのさい、内金として 15,000 円を  
現金で受取った。

現金 15,000/前受金 15,000

※まだこの段階では、商品の注文を受けただけで、  
売上げてはしません。

【例】薩摩商店は四国商店に商品 50,000 円を販売し、  
代金のうち 15,000 円は、注文時に受け取った内金  
と相殺し、残額は掛けとした。

前受金 15,000 / 売上 50,000  
売掛金 35,000

※商品を販売して(売り渡して)初めて「売上げ」  
になります。

「〇〇金」という似たような勘定科目が沢山出てきますね。  
こういう時は、勘定科目として丸暗記するのではなく、問題文から読取る  
ことを意識してみてください。  
では、次に仮払金と仮受金を確認していきましょう！



## ◆仮払金と仮受金

仮払金…従業員が出張などに行く時に、あらかじめ概算額を渡しておく場合に一時的に使用する勘定科目。

仮受金…内容が不明な入金があった場合に、一時的に使用する勘定科目。

### 仮払金

～概算額を支払ったとき～

→**仮払金**で処理

【例】従業員の出張に際して、旅費の概算額 15,000 円を現金で前渡しした。

仮払金 15,000/現金 15,000

【例】従業員が出張から戻り、概算額 15,000 円のうち、旅費交通費として 10,000 円を使用したと報告を受け、残額は現金で受取った。

旅費交通費 10,000 / 仮払金 15,000  
現金 5,000

### 仮受金

～内容不明の入金があったとき～

→**仮受金**で処理

【例】出張中の従業員から普通預金口座 45,000 円の入金があったが、その内容が不明である。

普通預金 45,000/仮受金 45,000

【例】従業員が出張から戻り、仮受金 45,000 円は得意先から売掛金を回収した金額であることが判明した。

仮受金 45,000/売掛金 45,000

## ◆立替金と預り金

立替金…当社ではない相手が支払うべき代金を代わりに支払ったり、従業員が支払うべき代金(生命保険料・社会保険料・源泉所得税など)を立替えた場合に使用する勘定科目。「従業員立替金」と処理することもある。

預り金…従業員が支払うべき代金(社会保険料・源泉所得税など)を会社やお店が代わりに支払うときに使用する勘定科目。「従業員預り金」や「所得税預り金」と処理することもある。

### 立替金

～立替払いしたとき～

→**立替金**で処理

【例】当社は、従業員が負担すべき生命保険料 3,000 円を現金で立替えた。

立替金 3,000/現金 3,000

### 預り金

～金銭を預ったとき～

→**預り金**で処理

【例】当社は、従業員に支払う給料 200,000 円のうち、源泉所得税 5,000 円を差し引き、残額は現金で支給した。

給料 200,000 / 預り金 5,000  
現金 155,000

## 立替金

～立替金を回収したとき～

【例】従業員に支払う給料 200,000 円のうち、先に立替えていた 3,000 円を差し引いた残額を現金で支払った。

給料 200,000 / 立替金 3,000  
現金 197,000

## 預り金

～預り金を支払ったとき～

【例】預り金として処理をしていた源泉所得税 5,000 円を税務署に現金で納付した。

預り金 5,000 / 現金 5,000

## ◆商品券と他店商品券

商品券…デパートなどで贈答用として販売しており、受け取った人は欲しい商品を購入することができる。

しかし簿記では、商品券を発行する側の処理を行う為、「商品券」という勘定科目は、【負債】となる。

他店商品券…他のデパートなどが発行した商品券で自社でも取り扱い可能な券。後日商品券の交換会にて、発行店より買い取りをしてもらえる。その為、「他店商品券」という勘定科目は【資産】となる。



## 商品券

～商品券を発行したとき～

→商品券で処理

【例】11/1 当社は、商品券 5,000 円を発行し、現金を受け取った。

現金 5,000 / 商品券 5,000

～商品を売上げ、商品券を受け取ったとき～

【例】11/10 商品 7,000 円を売上げ、代金は当店発行の商品券 5,000 円と現金 2,000 円を受け取った。

商品券 5,000 / 売上 7,000  
現金 2,000

## 他店商品券

～商品を売上げ、他店商品券を受け取ったとき～

→他店商品券で処理

【例】11/15 商品 7,000 円を売上げ、代金は他店発行の商品券 4,000 円と現金 3,000 円を受け取った。

他店商品券 4,000 / 売上 7,000  
現金 3,000

～商品券を精算したとき～

【例】11/30 商品の交換会にて、当社が保有する他店発行の商品券 4,000 円と当社発行の商品券 5,000 円を交換し、差額は現金で精算した。

商品券 5,000 / 他店商品券 4,000  
現金 1,000

債権・債務の勘定科目は、2級でもよく出題されます。  
繰り返し問題を解いて、少しずつ慣れていきましょう。



**過去問チャレンジ！※直近の過去問のみ載せています。**

貸付金・借入金…132回第1問-① 136回第1問-④ 139回第1問-①  
未収金・未払金…134回第1問-① 136回第1問-②  
前払金・前受金…132回第1問-⑤ 134回第1問-②  
仮払金・仮受金…132回第1問-⑤ 137回第1問-⑤  
商品券・他店商品券…138回第1問-⑤